

きよたまちづくり区民会議通信

第 13 号

発行元 きよたまちづくり区民会議（事務局：清田区市民部地域振興課）
〒004-8613 札幌市清田区平岡 1 条 1 丁目 電話 011-889-2024



清田区 20 周年記念 清田区民フォーラムを開催しました！

10 月 28 日（土）、清田区民センターで清田区民フォーラムを開催しました。清田区民フォーラムは、多くの区民の皆さんと清田区のまちづくりについて考えていくため、毎年、清田区の誕生日（11 月 4 日）近くに、「きよたまちづくり区民会議」と清田区の共催で開催しています。

今年度は、清田区 20 周年記念特別開催として、これまでのまちづくりにおける取組や活動を振り返りながら、区民会議で清田区の新たな魅力として注目している「食」と「音楽」にゆかりのあるゲストによるトークショーを行ったほか、

「きよた夢スイーツコンテスト」や「笑顔の絵コンクール」の表彰式、清田区内の中学生による「中学生サミット宣言」の発表もありました。

会場には、中学生や高校生のほか、親子 3 世代で参加するなど、幅広い年代の方々約 250 名が来場し、清田区の魅力を改めて感じながら、これからのまちづくりについて考える機会となりました。



プログラム	
オープニング	ファンファーレの演奏・花束の贈呈 開会あいさつ（区民会議議長 鎌倉 功）
第 1 部【清田区子どもたちの発表&表彰】	
演奏	北修学園マーチングバンド「フラッシュキッズ」
表彰式	きよた夢スイーツコンテスト 笑顔の絵コンクール表彰式
清田区中学生サミット宣言の発表	
休憩（清田区のスイーツ・飲み物の提供）	
第 2 部【参加型トークショー「笑顔つながるまち」】	
閉会	閉会あいさつ（清田区長 高橋 彰）

参加者の声 （アンケートより）

- ・普段聞くことのできない清田の魅力を知ることができ、参加してよかった。
- ・まじめな話ばかりかと思ったら、音楽やクイズもあり、楽しみながら参加することができた。
- ・小学生から高齢者まで参加していたのがよかった。
- ・子どもたちが自分の住んでいる町に興味を持てることはすごく良いこと。もっと若い人に参加してほしい。
- ・若い世代が積極的に意見を発表できる場を作ってあげてほしい。



区民会議は、どなたでも傍聴できます。
会議の開催予定や検討内容、イベントの開催結果などは、ホームページからご覧いただけます。
区民会議の活動についてご意見があれば、事務局までお寄せください。
TEL：889-2024 FAX：889-2701 メール：kiyota.shinko@city.sapporo.jp

ホームページQRコード▶



オープニング



北修学園マーチングバンド「フラッシュキッズ」による高らかなファンファーレとともに、清田区20周年をお祝いして、清田区長、「きよたまちづくり区民会議」議長、きよっちに花束が贈呈され、議長の鎌倉功より開会の挨拶を行いました。

第1部 清田区の子供たちの発表&表彰

【きよた夢スイーツコンテスト】

きよたでお菓子を食べよう！キャンペーン委員会・清田区共催

清田区20周年を記念して、区内の中学生以下を対象に募集。一次選考、区民投票を経て入選した4名に表彰状を授与しました。グランプリ作品は、高さ65cmのパフェとなってお披露目され、試食した入賞者は「おいしい！」とほほを緩めていました。



▶グランプリ作品



最優秀賞作品▶

【笑顔の絵コンクール】

清田区社会福祉協議会主催

区内の小学生から86名の応募があり、審査の結果、12名が入賞し、それぞれ表彰状を受け取りました。また、清田区20周年を記念して、「清田区長賞」「きよたまちづくり区民会議議長賞」の授与もありました。



【清田区中学生サミット宣言】 清田区PTA 連合会主催

清田区中学生サミットは、清田区内の7つの中学校の生徒会役員が集まり、他校生徒との交流、「まちづくり」についての意識を高めることを目的として平成28年から開催しています。今年度は、中学生である自分たちに何ができるかをフォーラムの場で自身の行動宣言として発表してもらいました。

1 清田区的环境を守ること

- ◆ 緑豊かな清田区をさらによくするために、ボランティアなどの活動に積極的に参加します。
- ◆ 清田区的环境の良さをPRします。

2 地域とのつながり

- ◆ 誰でも自由に利用し、交流できる場づくりに協力します。

3 まちづくり

- ◆ 地域の人たちと協力して、区民みんなが参加できるまちづくりを目指します。
- ◆ 地下鉄を清田区まで伸ばすなど、他の地域との交流を深めるためのまちづくりについて考えます。



第2部 参加型トークショー“笑顔つながるまち”

清田区の新たな魅力である「食」と「音楽」にゆかりのある方々をお呼びして、トークショーを開催しました。

トークショーの間には、清田区の人口や新しい魅力、世代間交流の有無などについて、会場を巻き込んだクイズを実施。清田区の現状と未来について、パネリストの皆さんのトークを交えながら、会場と共有する機会となりました。



クイズ

Q4 年代の違う人とつながることや交流する機会はありますか？

赤:十分ある 青:少ない… 黄:わからない

ご自身に当てはまるカードを挙げてください

ゲストパネラーとコメント（要約）

佐藤 広大さん



『清田区の魅力を外に発信していくことが必要』

清田区 20 周年記念のメイン事業として開催された「きよたマルシェ&きよフェス」は、清田区の新たな魅力である「食」と「音楽」を区民に印象付けたイベントになりました。「きよフェス」では多くの若者や子どもたちが企画や運営に参加しました。今後もこういった機会が充実していくといいと思います。また、清田区民だからこそ知っている経験や感動、場所が必ずあるはずなので、それを外に発信していくことがとても大事だと思います。

清田区出身、シンガーソングライター。平成 29 年 2 月、「スノーグローブ」でメジャーデビュー。ラジオ、テレビでもレギュラー番組を持つ。平成 29 年 4 月に清田区 20 周年 PR 大使に就任し、様々な場面で清田区の PR に協力している。

『国内外のお客さんが魅力的と感じるまちを目指すべき』

清田区は自然が近くにあり、住環境もよく、子育てしやすいまちです。また、農業も盛んなので、地元食材が手に入りやすく、清田ならではの食の魅力発信につなげていくことができると思います。清田区は、新千歳空港からのアクセスも良いので、国内外のお客さんが来訪する可能性があります。たとえば、京都のように、食と景観を楽しむために訪れたい、そんな魅力あるまちを目指していくべきではないでしょうか。

「お菓子のドルチェヴィータ（清田区美しが丘他 2 店舗）」オーナーシェフ。きよたでお菓子を食べてみよう！キャンペーン委員会委員長。生きていくうえで根本的に必要な「食べること」を大切にしており、若い世代にも伝えていきたいと考えている。

安孫子 政之さん



『世代や組織同士のつながりをもっとつくっていききたい』

清田区は、商業地と近すぎないちょうど良い距離感を保っているまちなので、子育てをしても安心だと感じています。これからのまちづくりには、次世代を担う子どもたちや若い人材が必要不可欠なので、一度清田区から転出しても、また戻ってきたくなるよう、面白いことを企画するなど魅力的なまちであり続けるべきだと思います。世代を超えた人とのつながり、お店を含む団体や組織同士のつながりをもっと作っていただけたいですね。

土鍋ごはんとワッフルのお店「Café Ri-no（カフェ リーノ）」（清田区北野）店主。以前勤務した店で経営のことを学び、自身でも経営に携わりたいと平成 25 年に姉妹で同店をオープン。子育てと仕事の両立に苦労しながらも、やりがいを感じている。

長谷部 玲緒奈さん



『清田の農産物などの食、景観を楽しめる魅力的な環境づくりを』

清田区は、住まいと自然が近いところが魅力的で、良好な自然環境は、質の高い農業にも適しています。美味しい農産物は、清田区の魅力的な「食」にもつながっています。農産物がもっと活用され、農業自体が日の目を見るといいですね。今後は、農場に訪れた人が食や景観を楽しめるなど滞在型の魅力的な環境を作っていきたいと考えています。

「農家の茶屋 自然満喫倶楽部」（清田区有明）オーナー。自分で育てたイチゴなど農作物を活用した商品を販売。自分も楽しみながら新商品を考案し、お客さんにも喜んでもらうことが仕事の醍醐味と感じている。

大西 智樹さん



清田区20周年記念 きよたマルシェ&きよフェスを開催しました！（9月9日）



晴天に恵まれ約 4,800 人の方にご来場いただきました！

すごく天気が良くて
盛り上がったよ！

地産地消の推進・食によるきよたブランドづくりを目指して、清田区産の野菜や飲食店を知って楽しんでもらおうと平成 26 年度から開催している「きよたマルシェ」。4 回目の開催となる今年度は、清田区 20 周年記念ということで、清田区で盛んな「音楽」も楽しめる「きよフェス」を同時開催しました。

「きよたマルシェ」では、山積みの地元野菜を販売する「軽トラ市」が今年も大盛況！また、清田区内の地元の企業や団体が出店したブースでは、大行列や売り切れも続出しました。



▶ポラスタは
すぐに売り切れ！



▼大合唱で感動のフィナーレとなりました



20 周年記念ビールも販売。20 分で売り切れました！



「きよフェス」では、清田区出身アーティストを中心に、高校生バンドやちびっこ、よさこいチームなどが多数出演。アーティストと学生と一緒に演奏するなど、午前から午後まで、様々なジャンルの音楽をたっぷり楽しめるイベントとなりました。

最後は、20 周年 PR 大使である佐藤広大さんと一緒に、清田区内の小学生・高校生と清田区長が「ありがとう」というオリジナル曲を熱唱。感動的なフィナーレとなりました！